

【学ぶ】 施策の柱 9

①予算事業名	学習センター（町営塾）運営事業	予算科目	2-1-4-29	基本構想上の位置づけ 上段:「島づくり目標」 下段:「施策の柱」	幼児・小中高等学校教育の充実		
②担当部課名	企画財政課	事業実施 (予定)年度	H30～H32	基本計画の該当箇所	高等教育の充実 施策の柱9-1		
③事業内容	じんぶん館を活用し町営塾を運営することにより久米島高校生徒の学力の向上を図る。生徒一人一人の進路実現に対するサポート、様々な習熟度の生徒に対応できる指導方法を取り入れ、大学入試改革に備えた取り組みとしてゼミ形式の授業実施、塾生による学習センター通信の発行により勉強以外のコミュニケーション能力や表現力などを培う場を提供する。						
④実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
⑤事業費 【単位:円】		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	財源内訳	(a) 国庫	0	0			
		(b) 県費	0	0			
		(c) 地方債等	0	0			
		(d) 一般財源	0	26,000,000	22,000,000	22,000,000	22,000,000
	計(a～d)	0	26,000,000	22,000,000	22,000,000	22,000,000	
	特定財源名	(a)または(b)の名称		(c)の名称			
⑥事業計画	年度	実施する具体的な事業の内容					
	平成30年度	・町営塾を開設することにより生徒一人一人の進路実現に対するサポートを行う。また、様々な習熟度の生徒に対応できる指導方法を取り入れることにより、幅広い生徒の受け入れる。また大学入試改革に備えた取り組みとしてゼミ形式の授業を行うほか、塾生による学習センター通信の発行により勉強以外のコミュニケーション能力や表現力などを培う機会を提供していく。					
	平成31年度	・町営塾を開設することにより生徒一人一人の進路実現に対するサポートを行う。また、様々な習熟度の生徒に対応できる指導方法を取り入れることにより、幅広い生徒の受け入れる。また大学入試改革に備えた取り組みとしてゼミ形式の授業を行うほか、塾生による学習センター通信の発行により勉強以外のコミュニケーション能力や表現力などを培う機会を提供していく。					
	平成32年度	・町営塾を開設することにより生徒一人一人の進路実現に対するサポートを行う。また、様々な習熟度の生徒に対応できる指導方法を取り入れることにより、幅広い生徒の受け入れる。また大学入試改革に備えた取り組みとしてゼミ形式の授業を行うほか、塾生による学習センター通信の発行により勉強以外のコミュニケーション能力や表現力などを培う機会を提供していく。					
⑦成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値 (37年度)
	町営塾への通塾者数	目標	()	(50)	(50)	(50)	(50)
		実績	42				
	大学等への進学率	目標	(60%)	(60%)	(60%)	(60%)	(60%)
		実績					
事業効果・成果等	・町営塾を開設することにより生徒一人一人の進路実現に対するサポートができるようになった。また、様々な習熟度の生徒に対応できる指導方法を取り入れることにより、幅広い生徒の受け入れが可能となっている。また大学入試改革に備えた取り組みとしてゼミ形式の授業を行うほか、塾生による学習センター通信の発行により勉強以外のコミュニケーション能力や表現力などを培う機会を手協している。						
⑧写真及び図面							